

学認対応 IdP ホスティングサービス実現に向けたアンケート報告書

1. 目的

本アンケートは、学認対応 IdP ホスティングサービスの実現に向けた事前調査を目的としている。

2. 調査の概要

調査時期: 2022年9月30日～10月21日

調査対象: 日本国内の大学等研究機関(約1,000)

調査方法: 公開アンケート方式

(学認の公式 web ページおよび SINET 加入機関向けメーリングリストで公開)

3. 調査結果の概要

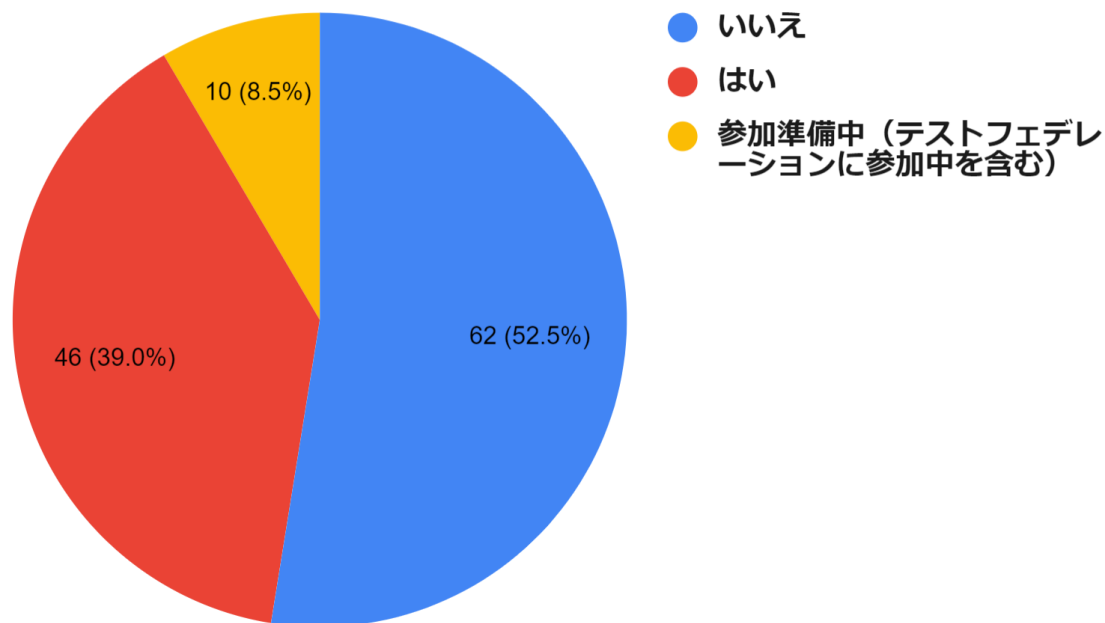
113 機関から 118 人の回答を得た。

回答者の50%以上が学認未参加機関に所属している。

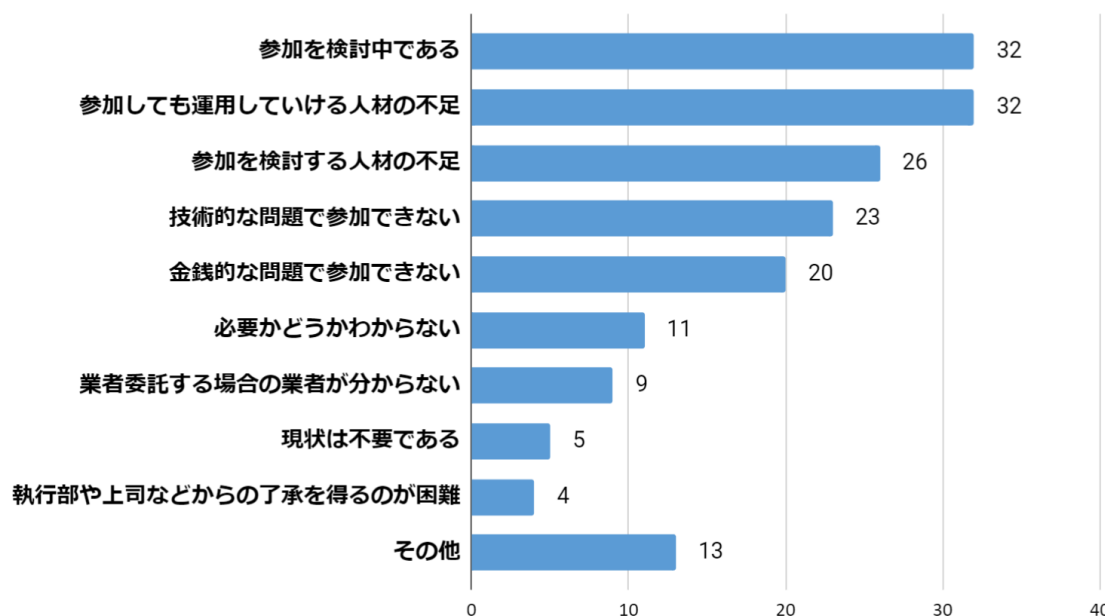
未参加理由としては、人材不足(参加しても運用していける人材の不足、参加を検討する人材の不足)と回答した機関が圧倒的に多く、次に、技術的な問題や金銭的な問題などであった。NIIとしても技術的なサポートが必要だと考える。また、回答者のうちの約9割が、学認対応 IdP ホスティングサービスを提供する事に興味を持っている事が判明した。

4. 調査結果の詳細

■ Q1 ■ 貴方の所属機関は学認(学術認証フェデレーション)に参加していますか



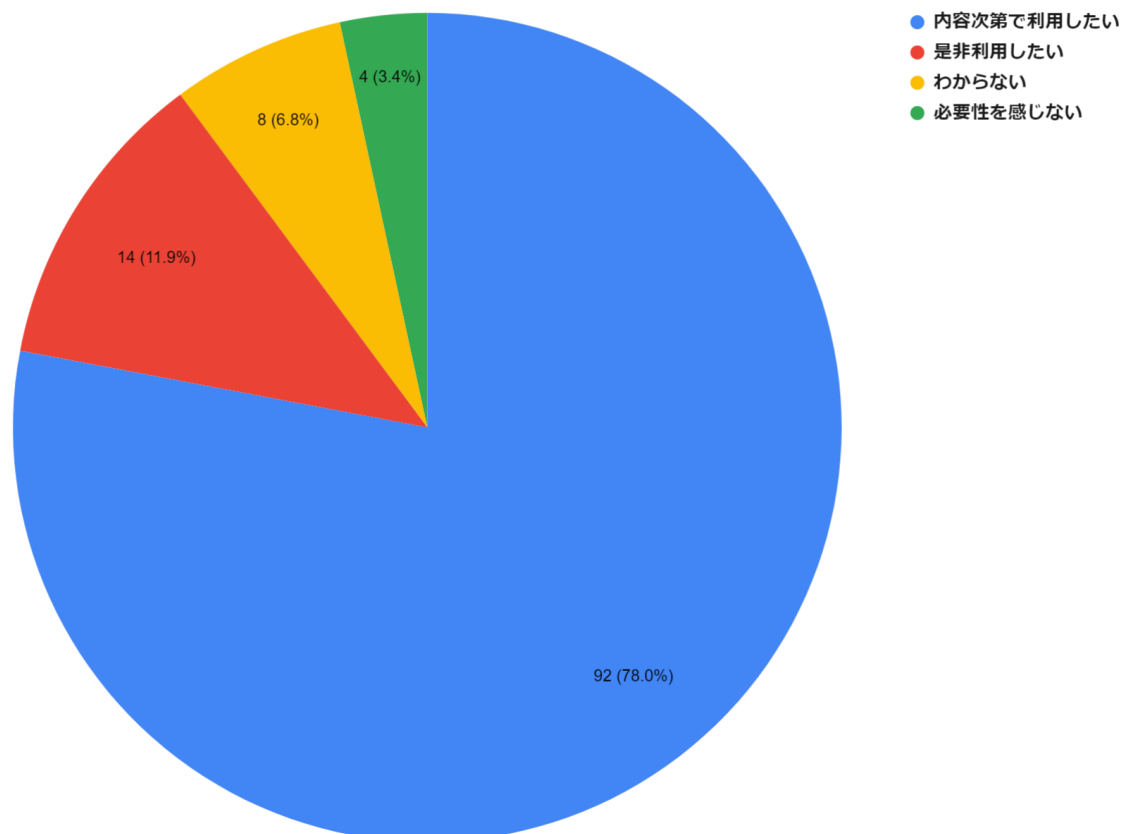
■ Q2 ■ Q1で「いいえ」を選んだ方のみお答えください。学認に参加していない理由を教えてください



「その他」の詳細

- 参加を検討中である 3件
- 学内からの希望がなかった 2件
- 学認についてシステム概要、メリット、デメリット等を調査できていない
- AzureAD を統合認証基盤として学認でも利用できないか検討中
- 導入してまで利用したいサービスが思いつかない
- 執行部や上司などからの了承を得るのが困難
- 技術的・金銭的な問題で参加できない
- 参加を検討する人材の不足
- 他 2件

■ Q3 ■ 学認に参加するには所属機関で IdP (Identity Provider) の構築、運用が必要になります。NII が学認ホスティングサービスを提供する場合、利用してみたいですか？ (学認ホスティングサービスは、学認の既存参加機関の利用も想定しております)



■ Q4 ■ Q3についての理由、ご意見等をお聞かせください

● Q3で「是非利用したい」を選んだ方

- 専門家による導入、継続的な運用ができると感じたため 3件
- 手間のかかっていた作業が軽減されると感じたため 2件
- 学認で利用できるサービスに興味があったが、実行には移せていなかった
- 外注コストが軽減できると感じたため
- 無料であるため

● Q3で「内容次第で利用したい」を選んだ方

- サービス仕様(多要素認証、外部システム連携、利便性向上など) 23件
- サービス費用(コスト面の問題解消、現行コストとの比較など) 20件
- 技術不足の問題解消 11件
- 運用軽減 6件

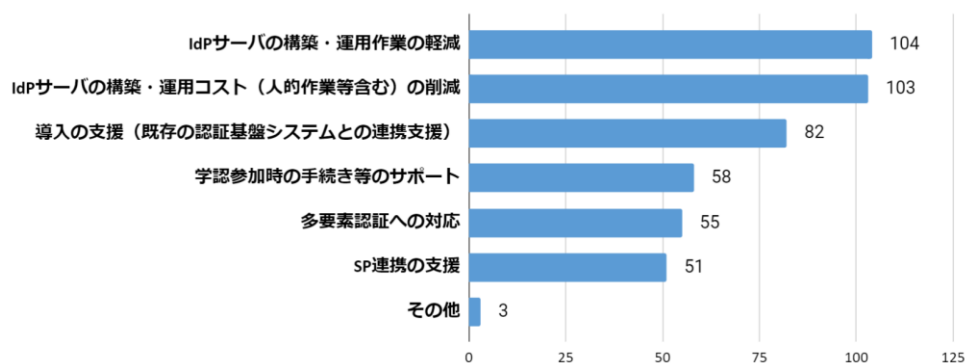
● Q3で「わからない」を選んだ方

- 既に類似の新システムを対応中の為、このサービスの参加が中途半端になる

● Q3で「必要性を感じない」を選んだ方

- 既にIdPサーバを構築・運用済みであるため 3件
- IdPサーバの利用用途が学認の利用にとどまらないため
- メリットが感じられない

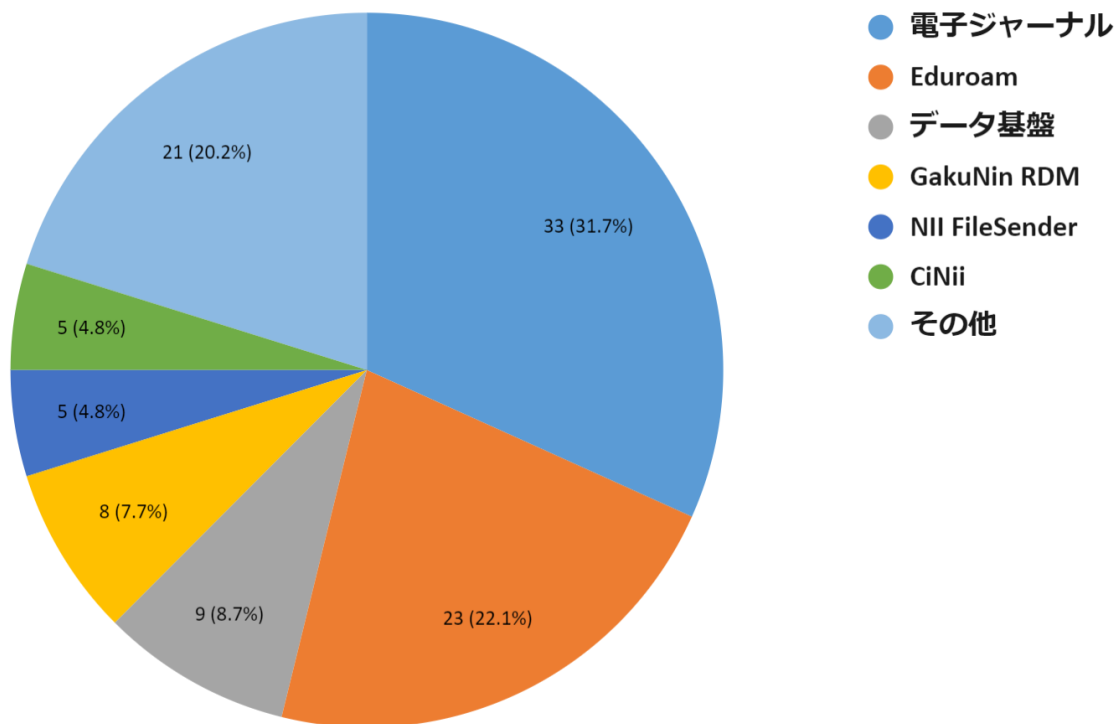
■ Q5 ■ 学認ホスティングサービスに期待することを下記からお選びください。(複数選択可)



「その他」の詳細

- AzureAD との連携が可能となること
- ミドルウェアを中心としてセキュリティ対策を考える必要が無くなる
- サポート体制の向上

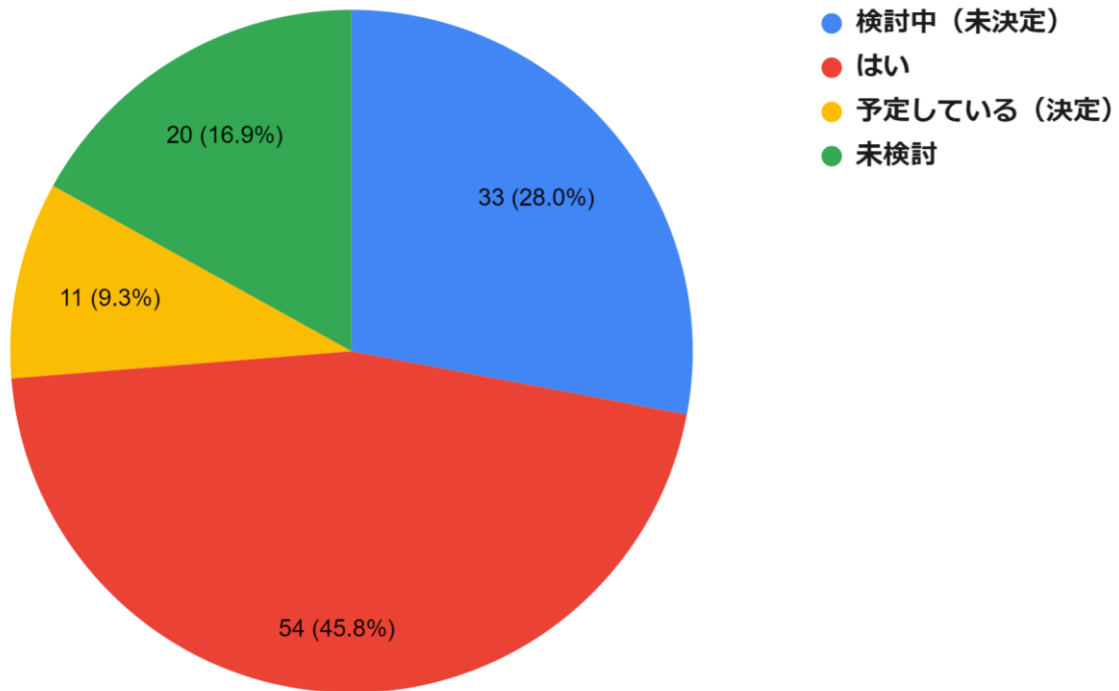
■ Q6 ■学認に参加することで、利用したいサービス[SP](Service Provider)がありましたら、お教えください(複数選択可、ex: 電子ジャーナル、eduroam、データ基盤)



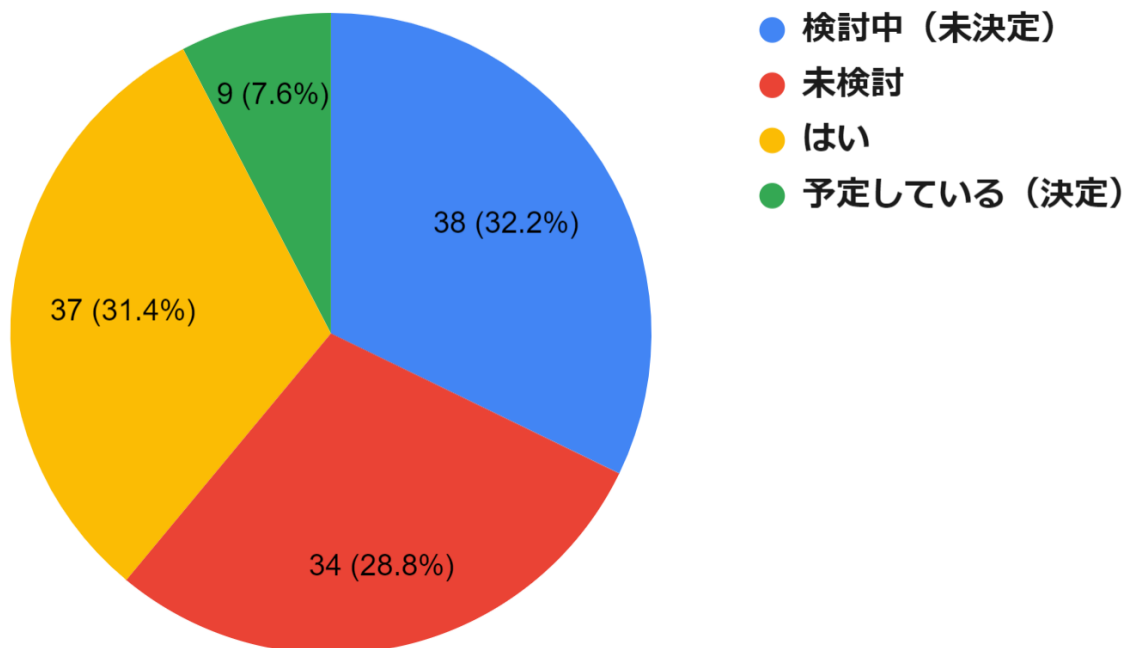
「その他」の詳細

- Microsoft 365 2件
- Researchmap 2件
- 学認 LMS 2件
- eduroam JP 認証連携 ID サービス 2件
- 学内者向けポータルサイト
- e ラーニング
- データ活用社会創成プラットフォーム(mdx)
- JAIRO Cloud
- EBSCOhost
- NALIS My Library
- Nature Research
- SpringerLink
- GoogleWorkspaceforEducation
- 就職支援
- eduGain
- 学認連携クライアント証明書発行システム
- デジタル教材

■ Q7 ■ 貴方の所属機関では統合認証基盤（ID の統合化や SSO などを実現するための認証基盤）は整備されていますか



■ Q8 ■ 貴方の所属機関は多要素認証を取り入れていますか



■ Q9 ■学認や学認ホスティングサービスに関して、ご意見ご要望等ございましたら、こちらにご記入ください。

- 多要素認証の機能が欲しい 6件
- 学認対応 IdP ホスティングサービスで Google や Microsoft のクラウドサービスのアカウント統合して欲しい 3件
- 学認対応 IdP ホスティングサービスの教育の場を提供して欲しい 2件
- 学認対応 IdP ホスティングサービスのわかりやすい資料を用意して欲しい
- 学認対応 IdP ホスティングサービス詳細説明を受けたい
- 学認対応 IdP ホスティングサービスサービスのクラウド化に対応して欲しい
- Google Workspace や Microsoft 365 のアカウントを利用して認証できるような仕組みが欲しい
- リバースプロキシ方式の代理認証システムについても提供して欲しい
- オンプレが必要な機関向けに OVF(OVA)や Dockerfile の提供をして欲しい
- 所属情報等を基に接続先 SP によるサービスが制御できる仕組みが欲しい
- SP の一覧から利用価値が分かりづらい

【所感】

学認に参加していない主な理由は、IdP を構築し運用するための人材の不足や、参加を検討する人材の不足、費用面の問題、委託業者をどのように選定しどのように依頼したらよいか分からない、などであった。

現在検討中である学認対応 IdP ホスティングサービスでは、IdP サーバのクラウドサービスを想定していることより、IdP サーバの構築や運用などの作業が大幅に軽減され、人材不足などの課題が解決されることが期待される。